

地 学 と 切 手



アメリカ自然史博物館 100 年

P. Q.

1869年に設立されたアメリカ自然史博物館 American Museum of Natural history 100年記念として 4枚1組のジャンボサイズ切手が1969年5月6日に発行された。アメリカ自然史博物館は ニューヨーク市にあって 公共教育と自然史科学の研究を目的としたものであり この種のものとしては世界最大である。それは13の科学部門—動物生態 人類 天文 昆虫 無脊椎化石 爬虫類 魚類 現棲無脊椎動物 哺乳類 微生物 鉱物 魚類 脊椎古生物学—を有し 100 名以上の研究者が研究を行なっている。面積は40エーカーであり 58の展示室と 348 室の付属施設があるという。展示室で有名なものとしては 鉱物と宝石の Morgan Hall ニューヨーク市周辺の自然についての Warburg Memorial Hall 太平洋鳥類の Whitney Memorial Hall アフリカ哺乳類についての Akeley Memorial Hall などがある。

しかし展示されているのはコレクション総数の10パーセント以下である。

博物館の活動は研究 探検 展示 教育などがあり かつてオスボーン象研究の集大成もここで行なわれ アンドリュースの蒙古探検もここから派遣された。現在は年間約400万人がここに訪れ その大部分は青少年である。一定日には市内の学校に講師が行ったり 展示が行なわれたりしている。出版物としては専門誌の Bulletin Anthropological Papers American Museum Novitates など 大

衆向け雑誌の Natural History がある。

切手はすべて6セント 多色刷である。アメリカ秃鷹 インディアンのハイダ族のカヌー アフリカ象群 恐竜が画かれている。最後の恐竜はこの博物館ではなく エール大学のピーボディ博物館の壁画である。ピーボディ (G. PEABODY) はアメリカ19世紀末の有名な古生物学者 とくに爬虫類と哺乳類の研究で有名だったマーシュ (OTHNIEL C. MARSH) の伯父であり富豪だった。彼は後年に自分の資産を社会事業に捧げたが そのうちのひとつが マーシュのいたエール大学に自然史のため設立したピーボディ博物館である。この博物館は恐竜の骨格の収集で有名である。なお マーシュは米国地質調査所最初の脊椎動物の古生物学者として勤務した。

新刊紹介

「公害防止装置・機器便覧」

公害資源研究所長 松本敬信監修

公害防止技術確立の緊要性がさげばれているが 本書は 公害資源研究所の所長をはじめ 同所の3人の部長および東京工業試験所の主任研究官らによって構成された 編集委員会がまとめたもので 1. 廃水処理装置 2. 大気汚染防止装置 3. 騒音・振動防止装置・測定器 4. 公害用分析機器の4部からなっている。全部で150機種にわたる装置や機器のそれぞれについて 原理 構造 特長 応用の4項目を付し 多くの図版とともに要領よく簡潔 明解に解説されている。さらに国内・国

外のメーカーによる技術的なカタログが各部の間にたっぷり(合計240ページ)挿入されており 公害関係の主要製品が一望のもとに掌握できるように配慮されている。

最近 公害に関する解説書 指導書等は非常に多く出版されているが 分散している装置や機器をこれだけ体系的に整理し 簡潔にまとめたものは見当たらない。公害関係分野を担当している技術者 研究者をはじめ管理部門の方々のガイドブックとして有用であろう。

A5判 700ページ 定価3,500円

発売元:丸善(株) 発行元:(株)ラティス 新宿区払方町15

Tel. (03) 267-2561